

# 有馬カンツリー倶楽部の今さら聞けないゴルフマナー講座

## ～プリンシプル(原理原則)を唱えた“白洲次郎”に学ぶゴルフ哲学～

白洲次郎とゴルフ 『例え首相であっても特別扱いをしない。』

28歳から始めたゴルフ。晩年には軽井沢ゴルフ倶楽部の理事長に就任。この時、倶楽部方針の第一義に掲げたのが、「PLAY FAST」だった。ビジターを制限し、「メンバーはみな平等」が口癖でマナーを徹底させた。コースでスロープレーヤーを見かけると、どんな偉い人にでも面と向かって注意したという。白洲はプリンシプル(原理原則)を主義としたが、この「PLAY FAST」にはゴルフのそれが貫かれているのである。

T首相やN首相に対してさえも、勝手なプレーを許さなかった逸話は有名。



白洲次郎 (1902年～1985年)

兵庫県芦屋市出身。終戦連絡中央事務局次長、経済安定本部次長、貿易庁長官、東北電力会長等を歴任。連合国軍(GHQ)占領下の日本で吉田茂の側近としてGHQ総司令部と渡り合い、「従順ならざる唯一の日本人」などの評を得るに至る。

### こんなシーンに遭遇したことはありませんか？

#### シーン①「ドレスコード」



「みんな見てますよ！」ドレスコードはゴルフ場によって違うので事前に確認しておきましょう。

#### シーン②「グリーンへの修復」



ライン上のディボットだけでなく、本当に直すべきは、「自分の球が作った後ろのボール・マークですよ！」

#### シーン③「プレーファースト」



「終わったらさっさと次のホールへ！」グリーンが終わったら、すぐにグリーンを空けましょう。後ろの組が待っています！

#### シーン④「紛失球」



「いつまでもボールを探さないで！」ボール探しは5分以内です。紛失球(ロストボール)として処置しましょう！

ある時、IT関係の社長様から「接待や社外ゴルフに参加する時とても不安だ。今まで仲間うちでしかゴルフを楽しんだことがなく、いざという時に基本的なルールやマナーが分からない。どうすればいいのか・・・。」というお話を聞きました。以前から日本のゴルフにおいて、マナーやルールは接待ゴルフや企業ゴルフなどの環境の中で教えられてきました。しかし、バブル時代が終わって20年余り、ゴルフは以前より安価に誰でも気軽にプレーできるスポーツとなった反面、ルールやマナーを学ぶ機会が少なくなったように思います。当倶楽部には女子プロゴルフの一時代を築いた大迫たつ子プロやNGF公認のプロコーチである黒木健二プロというゴルフの講義を行うには最適の人材が所属しています。そこで、技術的なレッスンだけでなく、ルールやマナーについてもゴルフ場で学べるような機会を作ろうと考えました。ぜひこの機会に、現在における理想の男性像No.1と称される白洲次郎氏のゴルフに対するプリンシプルの考え方とともに、R&A発行のゴルフ規則に基づいて、ラウンドしながら楽しくゴルフマナーを一から学びませんか。皆様のご参加をお待ちしております。

新有馬開発株式会社・有馬カンツリー倶楽部 代表取締役 谷 光 高

ご予約・お問い合わせ

TEL.079-565-2111(代表) 担当/酒井・塚本

 有馬カンツリー倶楽部

〒669-1334 兵庫県三田市中内神南山 841  
FAX.079-565-2121 URL: www.arimacc.jp

#### アクセス

お車の場合●中国自動車道・六甲北有料道路「神戸三田IC」を出て直進し、2つ目の信号を左折(約3km)  
電車の場合●JR 福知山線・神戸電鉄三田駅を下車。駅からタクシーで約15分。クラブバス有り。